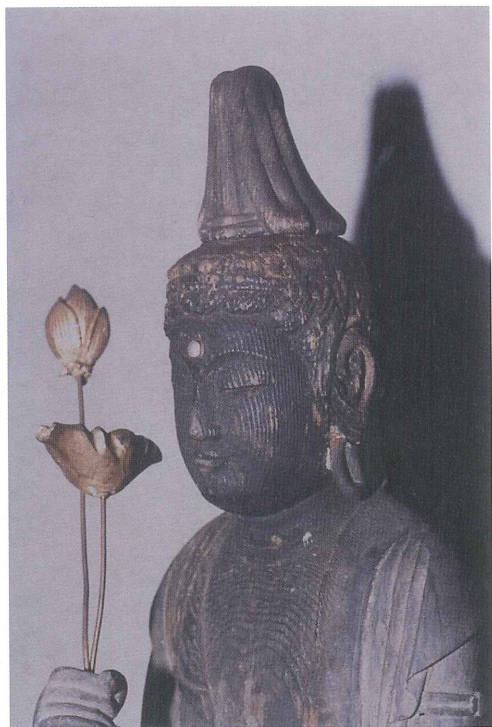


木造聖觀音菩薩立像



〔指定年月日〕平成元年三月三十一日  
〔種別〕有形文化財（彫刻）  
〔名称〕木造聖觀音菩薩立像  
〔点数〕一軀  
〔所有者等〕世尊院  
〔所在地等〕阿佐谷北一―二六―二

## 木造聖観音菩薩立像

本像は、本堂と道ひとつ隔てた観音堂に安置されている。像高六二・五cm、面長六・五cm、面幅六・五cm、肩幅一三cm、腰幅一七・五cm、腹幅一〇cmの菩薩形立像で、彫眼・一木造である。

全体的に表面が磨滅し木目が露出して時代の古さを感じさせるが、その木目が頭・胸・脚それぞれのふくらみによくマッチし、しかも左右対称に浮き出ている。これは、仏師の木取りの巧みさを示すもので、本格的な専門仏師の手になる秀逸な作品である。

腰をやや左にひねり、下げた右手の中指でちよつと天衣を持ち上げている。このように指先に天衣をかけた形は、通常の観音像にはあまりみられない形であるが、安定感のある姿の美しい像である。また、両耳にかかる精巧なつくりの髪、大きく孤をなす眉、彫りの細い長い目、はつきりと通った鼻筋など秀麗な相貌を示している。

制作年代は室町時代と推定されるが、鎌倉時代の作風をかなり濃厚に反映している点に特色があり、室町時代の作の中でも優れた遺品である。

### 【文化財所在地】

